



マイバッグで プラスチック・ スマート

マイバッグキャンペーン

アンケートに答えてマイバッグをゲット!



広げたサイズ：405mm×460mm×340mm
 畳んだサイズ：165mm×165mm×25mm

例年は、スーパー等の店頭でマイバッグを配布してレジ袋等の削減を呼びかけていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響により、店頭でのキャンペーンができません。代わりに市民のみなさんへごみ削減に関する簡単なアンケートを実施し、回答者から抽選で1,000名(交野市民に限る)に「交野市マイバッグキャンペーン特製レジかごバッグ」をプレゼントします。

- アンケート内容**
- ①レジ袋の削減のため、買い物時にマイバッグを使っていますか。
 - ②ペットボトルなどの使い捨て飲料容器を使わず、マイボトルを使っていますか。
 - ③4Rを知っていましたか。
 - ④3きり運動を実践していますか。

今年の7月からレジ袋の有料化がスタートしました。レジ袋の有料化は、近年問題となっているポイ捨てなどにより、河川を通じて海に流れ込む「海洋プラスチックごみ」対策の一環として始められています。

市も2019年7月7日に「交野市プラスチックごみゼロ宣言」を行い、レジ袋やペットボトル等のプラスチックごみ削減のため、マイバッグやマイボトルの利用に関する啓発活動をしています。

このような海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて、個人・企業・団体・行政などが、それぞれの立場でできる取り組みをしていくことを「プラスチック・スマート」といい、マイバッグの利用は個人でできるプラスチック・スマートの代表的なものです。レジ袋代節約のためだけでなく、未来のためにマイバッグを利用しましょう。

☎環境総務課 ☎892-0121



海洋プラスチックごみ問題とは

不用意にポイ捨てされたレジ袋やペットボトル等のプラスチックごみが、河川等を通じて海へ流れ込み、海を汚染する問題です。また、それらのごみは波の影響や紫外線での劣化等で細分化され、「マイクロプラスチック」と呼ばれる小さなごみになります。これらのごみの回収は現実的には不可能な上、自然分解されず半永久的に溜まり続けているのです。

この問題は世界的な問題ですが、特に日本近海でのマイクロプラスチック濃度は、世界平均の27倍ともいわれており、こうした問題への対策が必要とされています。

4R・・・4つの「R」から始まる行動です。

リフューズ(断る)	レジ袋や余分な包装、割り箸・使い捨てスプーン等のごみになりそうなものを断ること。
リデュース(減らす)	詰替商品の利用や、食材等を必要な分だけ購入することで、ごみを減らすこと。
リユース(再使用する)	壊れたものの修理や、リサイクルショップ等を活用し、使えるものを廃棄せず長く使用すること。
リサイクル(再生利用する)	資源ごみの分別回収への協力や、物を買うときはリサイクル品を選ぶこと。

3きり運動・・・3つの「きり」で食品ごみを減らす運動です。

使いきり	買い物は使いきれの量を買ひ、調理の際は調理くずを減らす工夫をすること。
食べきり	調理の際は食べ切れる量を作り、残さず食べ切ること。
水きり	調理くずは捨てる前にギュッとひと絞りして、水きりをする。

応募方法

はがきに④住所⑥氏名⑦電話番号と上記アンケート①～④に対する回答を記入し、12/25(金)〈消印有効〉までに

〒576-0041 私部西3-3-1 環境事業所内
 4R市民会議事務局 環境総務課

※当選は1世帯につき1枚限り。当選発表は発送をもって代えさせていただきます。なお、発送時期は令和3年2月以降に順次発送しますが、諸事情により発送が遅れる場合があります。

※記入された個人情報、発送業務にのみ使用します。

〈記入例〉

